

そら組 保育参加

R6/6/29

ときどき♡わくわくの4月の入園・進級から、早いもので3ヶ月がたとうとしています。最初は不安でいっぱいだった子どもたちも、今では園生活にすっかり慣れ好きな玩具や場所を見つけ、楽しむ姿が見られるようになってきました。そして少しずつ身の回りのことを自分でやろうとする気持ちも芽生えてきています。今日はおうちの方と一緒に、お子さんの成長を喜び合える楽しい日にしたいと思います。

そら組での成長

自己主張

園生活や保育者にも慣れてきて、自分の思いが出せるようになってきました。欲求が湧いてくるのに対して言葉の発達が追い付かない時期となります。感情を上手く言葉にできないため泣いたり怒ったりと全身を使って感情を表現します。また友だちにも興味が出てきて関わろうとする姿も見られるようになる一方で、「かみつき」「ひっかき」などトラブルも生まれやすくなります。そういう行動をとった子どもの思いを成長のひとつとして受けとめ、その上で「貸して」「見せて」など言葉で思いを少しずつ表現できるような援助を、1年を通して心がけていきます。言葉で自分の思いが出せるようになるのを待ちながら、**友だち作りの過程**をおうちの方も一緒に見守って頂けたらと思います。そして「かみつくこと」や「ひっかくこと」は、「友だちは痛いんだよ」「いけないよ」ということを、その都度しっかり伝えるようにしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。



トイレトレーニング

一人ひとりの様子をみながらトイレに行くようになりました。徐々に排尿する間隔が長くなり、おむつで排尿する回数が減ってきています。トイレで排尿出来た時には一緒に喜び「**次もしてみよう**」と思えるような励ましをしながら、無理せず進めていきたいと思っています。トイレで排尿出来るようになりましたらパンツにもチャレンジしていきますね。

自分でやってみたい



1歳半を過ぎる頃から、急にイヤイヤが多くなることがあります。これは「何でも自分でやりたい!」「チャレンジしたい!」という気持ちの表れ、成長の証です。

☆何でも自分でやりたい…でも、うまくできない!
☆あれがしたい…でも、やらせてもらえなかった!
☆ホントはこう言いたいのに…うまく言えない!
まずはこの悔しい気持ちを受け止めてあげてください。子どもは自分の気持ちをわかってもらえると気持ちが落ち着いてきます。「やる気」を上手に受け止めサポートしてあげることで自信となり次への成長に繋がっていきます。

よく噛んで食べよう



離乳食から幼児食に変わるのに伴って**咀嚼力**をつけることと、生活習慣としてひとりで食べようとする意欲を身に付けることが大切です。かむ力がつくと、虫歯予防にもつながり、脳や言葉の発達、体力の向上などへも良い影響があるといわれています。園ではスプーンにのせてあげると自分で口に運んだり、「カミ、カミ…」と意識的に噛むことを知らせたりしています。家庭でも楽しみながら肉や野菜など咀嚼を促し、子どもたちが自分で食べたくるように工夫をしてみてくださいね♡